

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成22年9月7日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 平成23年度 学生募集要項 公表
2. 日本初！ウィリアム・ワーズワス『湖水地方案内』翻訳本・出版
3. 「八峰祭」同時開催 『DNAでつなぐサイエンス』
4. 高校生朗読コンクール 本選出場者決定

### お 知 ら せ

1. 附属中学校公開講座「親子で楽しむ秋の星座」
2. 国際事業化研究センター「ドコサ・デモ教室」
3. 医学部公開講座「感染症への備え～医療現場で最低限必要な準備と対策～」
4. 工学部次世代ロボットデザインセンター講座「ロボットの未来・明日のカタチ」
5. 工学部重要文化財コンサート「ルネサンス・カフェ 癒しの響き」
6. 大学祭「第16回 吾妻祭～僕らが繋ぐこの瞬間～」
7. 工学部ひらめき☆ときめきサイエンス「有機の光を体験しよう」

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成22年9月21日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

## 平成23年度 学生募集要項 公表

平成23年度入学者選抜に係る「推薦入試学生募集要項」、「私費外国人留学生学生募集要項」及び「社会人入試学生募集要項」を別添のとおり公表します。

### 平成22年度入学者選抜との主な変更点

#### 1 推薦入試学生募集要項

- 工学部昼間コース電気電子工学科において、推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を免除する推薦入試）を新たに実施。
- 募集人員の変更

医学部 医学科	推薦Ⅱ	10人減（昨年度30人 → 20人）
工学部 昼間コース		
物質化学工学科	推薦Ⅰ	5人減（昨年度20人 → 15人）
バイオ化学工学科	推薦Ⅰ	1人減（昨年度10人 → 9人）
情報科学科	推薦Ⅱ	2人減（昨年度7人 → 5人）
電気電子工学科	推薦Ⅰ	5人増（新設）
機械システム工学科	推薦Ⅰ	5人増（昨年度12人 → 17人）

#### 2 私費外国人留学生学生募集要項

- 医学部医学科において、学力検査実施教科・科目等の変更  
「数学」、「理科（物理，化学，生物から2科目）」及び面接に加えて「国語」及び「英語」を課す。

#### 3 社会人入試学生募集要項

- 特になし

### 募集要項の入手方法

「推薦入試学生募集要項」及び「私費外国人留学生学生募集要項」はテレメールで請求いただけます。また、本学インフォメーションセンター又は各学部入試担当窓口でも配布しております。社会人入試学生募集要項は、冊子を作成しておりませんので、本学ホームページから直接ダウンロードしてください。

(URL <http://www.yamagata-u.ac.jp/jpn/entrance/index.html>)

(お問い合わせ)

学務・入試企画室 片桐

電話：023（628）4141

平成22年9月7日  
山形大学

## 日本初！ウィリアム・ワーズワス『湖水地方案内』翻訳本・出版

湖水地方の自然保護や近年の環境保護思想の先駆けとしても注目されているワーズワスの『湖水地方案内』を、充実した「訳注」と「訳者解説」を付けて日本で初めて翻訳し出版しました。

### 1. 出版物の概要

書名：『湖水地方案内』

著者：ウィリアム・ワーズワス(1770—1850)

翻訳者：小田友弥（地域教育文化学部教授）

出版社：法政大学出版局 価格：2700円＋税（6月22日より全国書店で販売中）

### 2. 『湖水地方案内』出版の意義と翻訳の特色

『湖水地方案内』にはワーズワスの湖水地方観や自然認識が表われており、ワーズワスやイギリス・ロマン派研究にとって重要な文献です。同時にこの書は、ツーリズムや産業化などの近代社会の諸相が自然に及ぼす影響を深刻に捉えて摘発した最も古い文献の一つでもあります。そのために、エコクリティシズム（文学作品の環境意識に焦点を当てた批評）や環境思想などの分野においても注目度が高まっています。

しかし、『湖水地方案内』には近づき難い点もあり、日本で初めて翻訳するにあたり、読みやすい日本語を心がけるとともに、詳しい「訳注」と「訳者解説」をほどこし、内容理解の一助としました。

### 3. ワーズワスと『湖水地方案内』について

ワーズワスはイギリス・ロマン派の代表的詩人で、自然が人間生活に持つ意義をテーマとした作品を数多く残し、日本にも多くの愛読者を持っています。『湖水地方案内』は、湖水地方に生まれ育ったワーズワスが、湖水地方への深い愛と幅広い知識を背景に書きあげたものです。

『湖水地方案内』は、旅行者向けの案内書の一つですが、類書とは大きく異なり、旅行者流入による悪影響に対するワーズワスの強い危惧の念が滲んでいます。彼は、単に旅行者を観光スポットに導くことではなく、この地本来の景観とその形成過程を尊重する心を育む役割を『湖水地方案内』に与えたのです。それは人々に、人間と自然の関係を再考することを促す内容のものでした。

(お問い合わせ)

山形大学地域教育文化学部 生活総合学科

教授 小田友弥

TEL: 023-628-4400

## プレス発表資料

平成22年9月7日  
山形大学

### 「八峰祭」同時開催 『DNAでつなぐサイエンス』

理学部公開講座 今年のテーマは“DNA”（デオキシリボ核酸）  
実験と実験結果の解析と講義で理解を深めます。

日 時：1日目 平成22年10月23日（土）13:00～16:30

2日目 平成22年10月24日（日）10:00～17:00

会 場：山形大学SCITAセンター

山形大学理学部先端科学実験棟4階大講義室

対 象：一般の方（高校生以上） 40名（DNA実験のみ定員あり）

受 講 料：1,000円

申込み期間：平成22年9月15日（水）～10月15日（金）

理学部の公開講座は、例年6月の土曜日に開講していました。今年は、初めての試みとして、10月の大学祭「八峰祭」と合わせて開催することにしました。

今年のテーマは“DNA”（デオキシリボ核酸）です。理学部教員がDNAに関する興味深い話をいたします。

1日目に実験を行い、2日目には実験結果の解析と講義を行います。

また、毎年実施している研究室公開を2日目に行います。大学祭参加者も気軽に研究室を訪問できるように終日公開といたします。

これまでとは違い、より多くの方に理学部の研究を紹介するいい機会だと考えております。

（お問い合わせ）

山形大学理学部事務ユニット 公開講座担当係

TEL：023-628-4505



## 対象

一般の方(高校生以上) 40名

※事前申し込みが必要です。詳しくは、「お申し込み方法」欄をご覧ください。

## 受講料

1,000円

※ただし、2日目(10月24日)の13:00以降のみ受講される場合は、500円(資料代)となります。  
※受講料は当日受付時にお支払いください。

## 会場

山形大学SCITAセンター(理学部1号館内)  
山形大学理学部先端科学実験棟4階大講義室



## アクセス

山形駅前(4番のりば)12:10発(2日目は9:10発)の「県庁前待合所」行きに乗り「南高前・山大入口」で下車、徒歩7分。

## お申し込み方法

はがき・Eメール・FAXで、1.お名前 2.性別 3.年齢 4.郵便番号 5.ご住所 6.お電話番号 7.ご職業または在学学校名・学年を、下記お申し込み先までお知らせください。先着順で受け付け、受講証をお送りします。

お申し込み期間  
2010年  
9月15日(水)~  
10月15日(金)

※ただし、2日目(10月24日)の13:00以降のみ受講される場合は、事前申し込みは必要ありません。  
2日目13:00以降からの講義は、100名まで受講可能です。

## お申し込み・お問い合わせ先

山形大学理学部事務ユニット 公開講座担当係

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL: 023-628-4505 / FAX: 023-628-4510

E-mail: koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

【受付時間】9:00~17:00(土曜・日曜・祝日は除く)

## <お願い>

■1日目(10月23日)の実験については、次の①~③をご了解の上、ご参加ください。

- ①この実験には、参加する方が自分の細胞・DNA・遺伝子の一部を観察する内容が含まれています。
- ②この実験で観察する個人の細胞・DNA・遺伝子は当日中に廃棄し、他の目的には使用いたしません。
- ③この実験で観察する遺伝子は個人の健康状態等に関する情報を含みません。

■公開講座は、山形大学大学祭「八峰祭」と同日開催となります。そのため、講座当日は小白川キャンパスへの車両の入構は一切できませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

## FAXお申し込み用紙

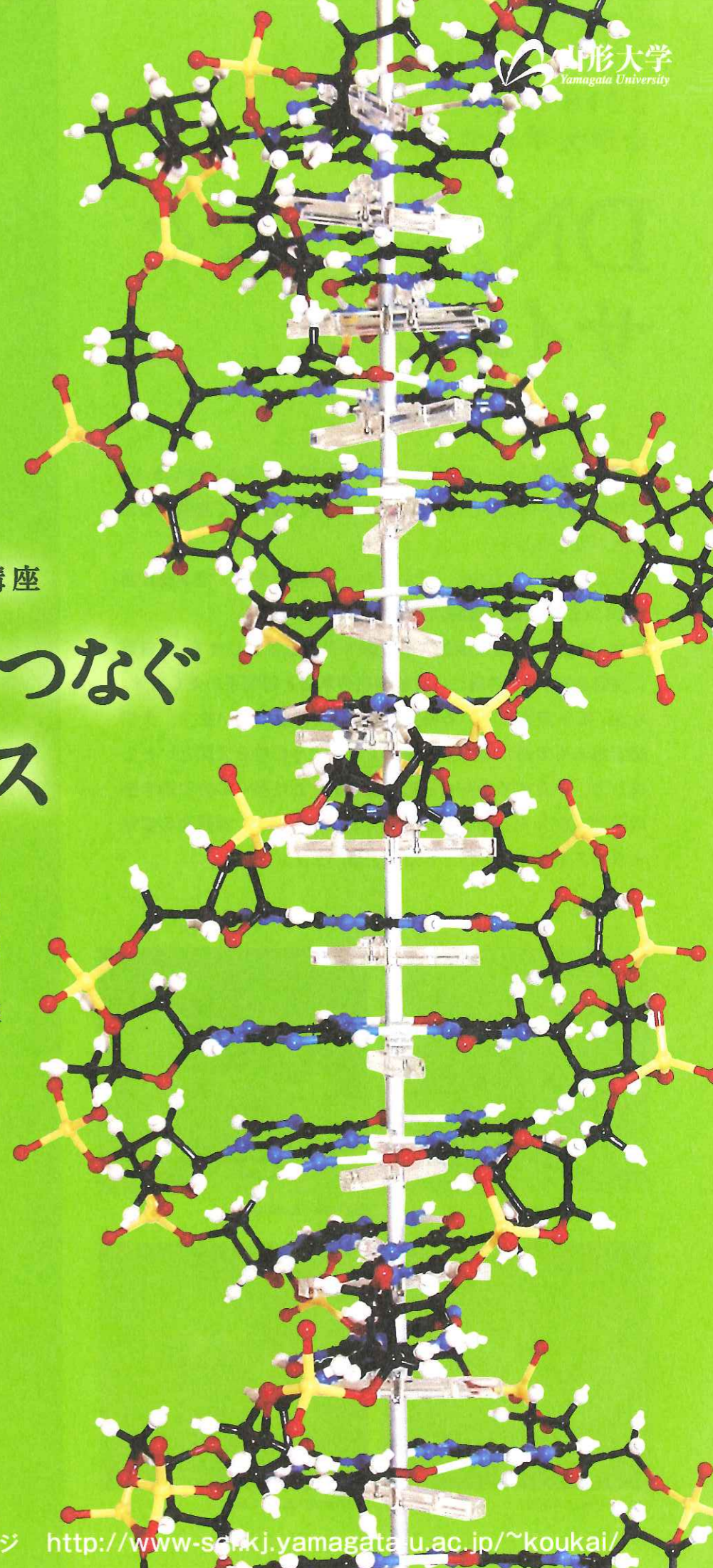
必要事項をご記入の上、山形大学理学部事務ユニット 公開講座担当係までお申し込みください。

FAX: 023-628-4510

お名前	性別	年齢
	男・女	歳
ご住所 〒	ご職業・学校名(学年)	
電話番号		

※お知らせいただいた個人情報は、今回の公開講座の事務手続き以外には使用いたしません。

この面をそのままFAXしてください。



2010年度  
山形大学理学部公開講座

# DNAでつながるサイエンス

第1日目 10月23日(土)

第2日目 10月24日(日)

山形大学大学祭「八峰祭」同時開催



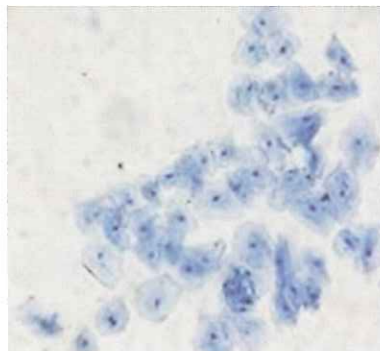
2010年度  
山形大学理学部公開講座

# DNAでつなぐ サイエンス

理学部公開講座は、例年6月の土曜日に開催しておりましたが、今年度は10月の山形大学大学祭「八峰祭」と合わせて開催することといたしました。

今年のテーマは“DNA”（デオキシリボ核酸）です。理学部教員のDNAに関する興味深い話が聞けるとおもいます。

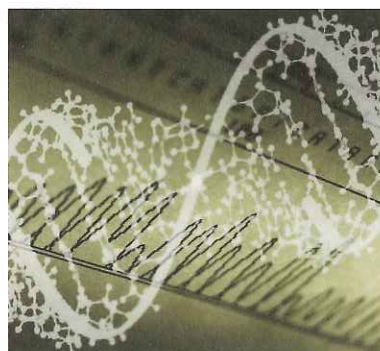
また、今回はDNAに関する実験を予定しております。1日目に実験を行い、2日目には実験結果の解析と説明をいたします。なお、毎年実施している研究室公開を2日目に行います。大学祭参加者も気軽に研究室を訪問できるように終日公開といたしました。いままでの形式と違いますが、より多くの方に理学部の研究を紹介する機会だと考えておりますので、本講座の参加と併せて是非ご覧いただきたいと思っております。



ヒトの口腔粘膜細胞。核が見える。



自分の細胞を顕微鏡で観察する。



DNAの分子構造と塩基配列



琥珀の中に取り込まれた虫の化石

## プログラム

第1日目 10月23日(土)

13:00~13:10 開講式

13:10~16:30 生命の設計図  
— 個体によるDNAの  
違いを見る(実験)  
生物学科教授 玉手英利

第2日目 10月24日(日)

10:00~11:15 生命の設計図  
— 個体によるDNAの  
違いを見る  
(実験結果の解析と説明)  
生物学科教授 玉手英利

11:15~13:00 会場移動・休憩(昼食)  
(希望者は研究室見学)

13:00~14:00 X線の回折とDNAの構造  
物理学科准教授 大西彰正

14:15~15:15 DNAに含まれる情報  
物質生命化学科准教授  
福田宏太郎

15:30~16:30 DNAから地球の歴史を  
紐解く  
地球環境学科准教授  
ジョルダン R.W.

16:30~16:40 閉講式

16:40~17:00 解散(希望者は研究室見学)

2日間受講された方には修了証書を授与いたします。

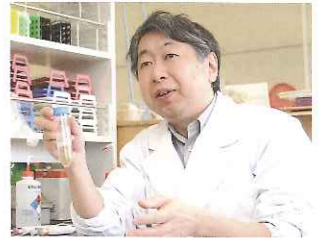
10月23日  
13:10~

10月24日  
10:00~

## 生命の設計図 — 個体によるDNAの違いを見る

講師：生物学科教授 玉手英利

私たちが、一人ひとり、顔かたちなど様々な性質が違うのは、各自がもつDNAに個体の違いに関する情報が書き込まれているからです。このような個体によって異なるDNA=遺伝情報を、実際に目で確かめる実験を行います。このプログラムでは、遺伝子に関する研究の最前線について理解を深め、究極の個人情報であるDNAを研究する学術的意義と倫理的問題について考えることを目的としています。



タマテヒデシ：宮城県出身。専門分野は生態遺伝学で、特にニホンジカ、ツキノワグマなどの大型哺乳動物の集団構造に関する研究を行っている。最近では、東北地方で分布を拡大しているニホンイノシシの研究を進めている。アニメやその他サブカルチャー系が好きで、押井守やティム・バートンなどに「はまっている」。

10月24日  
13:00~

## X線の回折とDNAの構造

講師：物理学科准教授 大西彰正

DNAの構造が二重らせんであることは良く知られています。この立体構造の解明に重要な手がかりを与えたのはDNAのX線回折写真でした。結晶によるX線の回折現象は1912年にドイツの物理学者ラウエにより発見され、結晶内部の原子の配列を調べる手段となりました。この講義では、私たちの目では直接見ることができない結晶内部の様子がなぜX線の回折からわかるのか、簡単な例をもとに解説します。



オオニシアキマサ：滋賀県出身。専門分野は光物性物理学。趣味・特技は、野球とガーデニング。妻、子3人と愉快地暮らしている。

10月24日  
14:15~

## DNAに含まれる情報

講師：物質生命化学科准教授 福田宏太郎

DNAは核酸の一種で、細胞の中に存在している長い鎖状の化学物質です。DNAの基本単位はヌクレオチドと呼ばれ、糖とリン酸、塩基から構成されています。塩基はアデニン、グアニン、シトシン、チミンのたった4種類しかありません。それにもかかわらず、DNAは地球上のほぼ全ての生物において、遺伝情報を担う物質となっており、生命の設計図とよく言われます。この講義では、「DNAが遺伝情報を担っていることの発見」、「DNAの構造と役割」についてご紹介いたします。



フクダコウタロウ：東京都出身。専門分野は分子生物学で、核酸(DNAやRNA)を材料とした「薬の種創り(核酸創薬)」を目指している。現在は、「C型肝炎ウイルス」や免疫応答に必須な「核酸センサー」に対する機能性核酸の開発にチャレンジしている。趣味・特技はパドミンソンと映画鑑賞。妻、長男(1歳)の3人家族。

10月24日  
15:30~

## DNAから地球の歴史を紐解く

講師：地球環境学科准教授 ジョルダン R.W.

植物や動物の死後、細胞内のDNA分子は、すぐに変質し分解を始めます。したがって、化石のDNAが完全に保存されることはありません。にもかかわらず、我々はDNAの分解物(フラグメント)から絶滅した生物とそれらの進化について多くのことを理解し、フラグメント分子時計を使用して進化の段階の時期を明らかにしています。古いDNAを再構築する技術は絶えず向上しているので、今はSFでしかない「ジュラシックパーク」や「アイスエイジパーク」も、近い将来には現実になるかもしれません。講義ではその研究の一端についてご紹介いたします。



ジョルダン・リチャード：英国出身。専門分野は古生物学と生物海洋学で、過去と現在の環境(特に極地海域とサンゴ礁)について研究している。趣味・特技は、フットサルと硬式テニス。熱的なモンテディオファンである。妻1人。



平成22年9月7日  
山形大学

## 高校生朗読コンクール 本選出場者決定

俺達(おらだ)の国語ば可愛(めんご)がる高校生が決定しました。

## ◎本選

日時：平成22年9月11日(土) 13:30～17:00

会場：山形大学米沢キャンパス旧米沢高等工業学校本館

公開：一般市民 定員50名 (入場無料・要事前予約)

なお、審査の間、本学教授 山本陽史が「井上ひさしと藤沢周平―東北ユートピアを夢見て―」と題して講演します。

井上ひさしの「吉里吉里人」と藤沢周平の「海坂藩」ものを比較し、二人が目指した「ユートピア」について考察します。

## ◎本選出場者(五十音順)

稲村沙織	山形北高等学校、	茨木隼人	山形学院高等学校
工藤齋州	山形学院高等学校、	後藤辰哉	山形学院高等学校
鈴木 愛	寒河江高等学校、	二野瓶舞	山形北高等学校
三浦紗彩	山形西高等学校、	山口愛美	山形東高等学校

本選の課題は、井上ひさし氏の「吉里吉里人」。「吉里吉里人」のひとつながりの部分を人数分にわけ、あらかじめ出場者一人一人に異なる部分を指定しています。当日の審査では、出場者に順番に指定の場所を朗読してもらい、場面がリレーのようにつながり、作品の場面がひと繋ぎの音声として浮かびあがるようにプログラムを構成しました。

予選を通過した山形県の高校生が、それぞれの吉里吉里語で故郷山形への思いを表現します。そんな高校生たちを応援して下さる、一般市民のみなさまのご来場をお待ちしています。

(お問い合わせ、申込受付)

山形大学工学部図書館 三角(みすみ)

TEL: 0238-26-3019 Fax: 0238-26-3408

Mail: misumi@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第三回山形大学高校生朗読コンクール

井上ひさし

—東北のことはとこころ



山形大学は米沢市の山形大学工学部キャンパスにて、第三回高校生朗読コンクール本選を

開催いたします。課題作品は井上ひさし氏の「吉里吉里人」、東北方言と共通語が混在する井上氏ならではの作品です。

「俺達の国語ば可愛がれ」

「吉里吉里人」中のこの一文こそが今回の朗読コンクールのテーマです。本学は「地域に根ざし、世界をめざす」をミッションとし、山形の地域の文化の活性化を目指してまいりましたが、ふだん使っている言葉、方言こそが地域文化の基礎となるものであり、大切にしていかなければならないものであると考えています。予選を通じた山形県の高校生たちが、それぞれの吉里吉里語で故郷東北への思いを表現します。

そんな高校生たちを応援して下さる一般市民の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

聴講者募集

平成22年9月11日(土)

開場 13:00 開始 13:30 (終了 17:00頃)

- プログラム**
- 第1部：高校生による朗読コンクール本選  
朗読作品：井上ひさし「吉里吉里人」より
  - 第2部：講演  
「井上ひさしと藤沢周平：東北ユートピアを夢見て」  
山本陽史（山形大学教授）
  - 第3部：コンクール結果発表・講評・表彰式

**会場** 山形大学 米沢キャンパス 旧米沢高等工業学校本館

**対象** 一般市民 定員50名〈入場無料・要事前予約〉

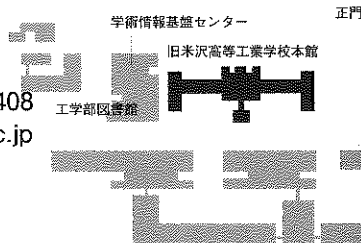
**申込受付** 8月23日(月) 9:00～ 定員に達し次第締め切ります。

※聴講申込・お問合わせはなるべく Fax または E-mail でお願ひします。

■ 聴講申込・お問合わせ先：  
山形大学工学部図書館 担当 三角 みすみ  
〒992-8510 米沢市城南4-3-16  
Tel: 0238-26-3019 Fax: 0238-26-3408  
E-mail: misumi@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※電話によるお問合わせは  
平日9:00～17:00 にお願ひします。

※山形大学米沢キャンパスへは、JR米沢駅から南西約2.8km。  
JR米沢駅前から「市街地循環バス右回り(青色のバス)」で山大正門前下車(約15分)。  
JR米沢駅前から「白布温泉」行きバスで城南二丁目下車(約10分)。  
JR山形駅からJR米沢駅までは電車で約45分。



第3回山形大学高校生朗読コンクール 聴講申込書

Fax: 0238-26-3408

住所	〒		
ふりがな	人数	Tel :	
代表者氏名		Fax :	
		E-mail :	



# プレス通知資料（概要）



平成22年9月7日  
山形大学

## 1. 附属中学校公開講座「親子で楽しむ秋の星座」

(概要) プラネタリウムで夏・秋の星座や銀河系を見たり、天体望遠鏡や双眼鏡を用いた星座の観察と神話等の説明から、宇宙のロマンを実感して秋の星の楽しみ方を学び、実践へと誘います。

日 時:平成22年9月11日(土) 18:30~20:00

場 所:附属中学校 多目的ホール「六稜ホール」(山形市・松波キャンパス)

受講対象:親子50組 120名程度

講 師:柴田晋平 教授と「山形小さな天文学者の会」星のソムリエの方々

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学附属中学校

(TEL)023-641-4440

## 2. 国際事業化研究センター「ドコサ・デモ教室」

(概要) 大学で研究している、ゴミ(古い天ぷら油など)の活用方法を学んで体験しよう。

その学んだことからアイデアを考えて大学に教えてください。そのアイデアを10月に川西町に展示します。

当日の取材をお願いいたします。

日 時:平成22年9月11日(土) 10:00~16:00

場 所:工学部2号館、3号館(米沢市・工学部キャンパス)

対 象:置賜の小学5、6年生 20名(保護者見学可能)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学国際事業化研究センター「ドコサ・デモ教室」担当 渡部

(TEL)0238-26-3483

## 3. 医学部公開講座「感染症への備え～医療現場で最低限必要な準備と対策～」

(概要) 本講座では、医療機関での感染症への備えに関して、職種ごとにどのような役割を果たすことが期待されるか、およびその連携を解説します。

また、医療機関における具体的な対策に関する「悩み」を共有する場としてもご活用いただければ幸いです。当日の取材をお願いいたします。

日 時:平成22年9月25日(土)、10月2日(土) 13:00~16:00

場 所:医学部大講義室(山形市・飯田キャンパス)

参加者:すべての医療従事者および医療機関事務担当者 100名

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学医学部総務ユニット庶務担当

(TEL)023-628-5006

#### 4. 工学部次世代ロボットデザインセンター講座「ロボットの未来・明日のカタチ」

(概要) 本講座では、次世代ロボットデザインセンターに所属する教員が、4つのテーマからロボットの未来や明日の社会のカタチを紹介します。

講義終了後に、普段見ることのできない研究室見学も実施します。

日 時:平成22年10月2日(土) 13:00~16:00

場 所:工学部(米沢市・工学部キャンパス)

受講対象:一般市民(高校生以上) 40名

受講料無料です。

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学工学部広報室

(TEL)0238-26-3419

#### 5. 工学部重要文化財コンサート「ルネサンス・カフェ 癒しの響き」

(概要) 毎年好評をいただいている、旧米沢高等工業学校(国重要文化財)でのコンサートも今年で10回を数えます。

日 時:平成22年10月9日(土) 開場14:30 開演15:00

場 所:工学部重要文化財内(米沢市・工学部キャンパス)

申込み受付:平成22年9月8日(水)10:00~電話受付。定員100名

入場無料です。

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学工学部企画総務チーム

(TEL)0238-26-3005

#### 6. 大学祭「第16回 吾妻祭~僕らが繋ぐこの瞬間~」

(概要) 今年の吾妻祭は工学部100周年記念ということで、毎年金土日開催だったものを、今年からは土日月の3連休に開催されることとしました。

☆平成22年10月9日(土) in米沢女子短期大学

オープニングイベント、各種企画

清水翔太ライブ 開場16:00 開演17:00

☆平成22年10月10日(日) in山形大学工学部

各種企画、屋台・展示・研究室公開・フリマ

☆平成22年10月11日(月) in山形大学工学部

各種企画、屋台・展示・研究室公開・芸人ライブ(弾丸ジャッキー)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学工学部・米沢女子短期大学合同学園祭「吾妻祭」実行委員会

吾妻祭HP⇒ <http://sky.geocities.jp/azumasai2010/azuma/10azumasaitop.html>



## 7. 工学部ひらめき☆ときめきサイエンス「有機の光を体験しよう」

(概要) 世界で今、一番注目をあびている「有機EL」について様々な体験をしてもらいます。

はじめに城戸先生から「有機ELはどんなもの？」について教えてもらいます。

その後、有機物質を合成したり、有機ELを作ってもらいます。

昼食は、学食でちょっぴり大学生気分。3時のクッキータイムは、城戸先生への質問コーナーやフリートークの時間も用意します。

中学生の皆さん、楽しみながら心に残るステキな体験をしてみませんか。

日 時:平成22年11月13日(土) 10:00～16:00(受付は9:30～)

場 所:工学部(米沢市・工学部キャンパス)

対象者:中学生 20名

申込締切日:平成22年10月31日(日)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学工学部研究支援室

(TEL)0238-26-3004

## 8. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント

当日の取材をよろしく願いいたします。

### ○附属幼稚園公開講座「すこやか広場」

2回目「親子でぺたぺた まぜまぜしよう」

日 時:平成22年9月7日(火) 14:30～15:45

会 場:附属幼稚園(山形市松波 2-7-1)

対象者:2～3歳児 親子50組

問い合わせ:山形大学附属幼稚園

(TEL)023-641-4446・4447

### ○地域教育文化学部公開講座「家族で科学を楽しむための理科教室」

日 時:平成22年9月18日(土)～10月16日(土) (10/9は除く)

14:00～16:00(毎週土曜 全4回 計8時間)

場 所:山形大学 SCITA センター(山形市・小白川キャンパス)

対象者:小学生(3学年以上)とその家族 20組

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学地域教育文化学部 総務チーム

(TEL)023-628-4304

「親子で築こう豊かな心、広がる心」

～子どもの成長とともに～

★ 親子で楽しむ秋の星座 ★

親子が一緒に自然体験は、原体験として子どもの心に深く刻まれます。

また、秋の夜空を眺めて語り合える親子の姿には温もりと絆が感じられます。そこで、本校「六稜ホール」のプラネタリウムで秋の星座や銀河系を観たり、天体望遠鏡で木星などの惑星を観察しながら、宇宙のロマンを実感して秋の星の楽しみ方を学び、実践へと誘います。

日 時 平成22年9月11日(土) 18:30～20:00 (受付18:00より)

場 所 山形大学附属中学校 多目的ホール「六稜ホール」  
山形市松波2-7-3 (〒990-0023)

講 師 柴田晋平先生(山形大学教授)と「小さな天文学者の会」星のソムリエの方々

受講料 1家族につき、500円(当日、受付にてお支払い願います。)

募集対象 幼児、小・中学生とその保護者  
教員(幼稚園・保育園・小学校・中学校・特別支援学校)

募集人員 親子50組120人程度(教員等は親子でなくとも可) <先着順>  
※ 定員を上回った場合は、FAXにてお断りの連絡を入れさせていただきます。  
その連絡がない場合は、参加可能と判断下さい。

申し込み期限 9月9日(木)午後5時まで

申し込み方法 裏面の送信票を使って、FAXにて申し込み下さい。

申込先/問い合わせ先

山形大学附属中学校

FAX 023-641-4441

TEL 023-641-4440



# 附属中学校公開講座申し込み<FAX送信書>

FAX送信書 023-641-4441 <附属中学校>

山形大学<附属学校園>公開講座

## 講座名:「親子で楽しむ秋の星座」

### 【参加者氏名】

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_

### 【参加者住所】

〒

\_\_\_\_\_

### 【電話番号・FAX番号】

電話番号

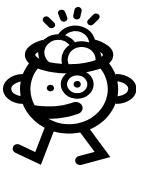
\_\_\_\_\_

FAX番号

\_\_\_\_\_



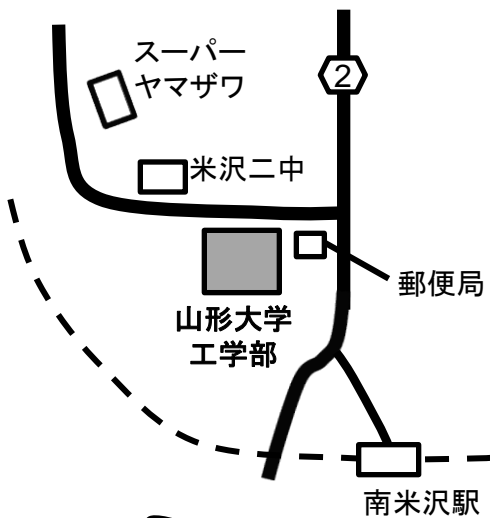
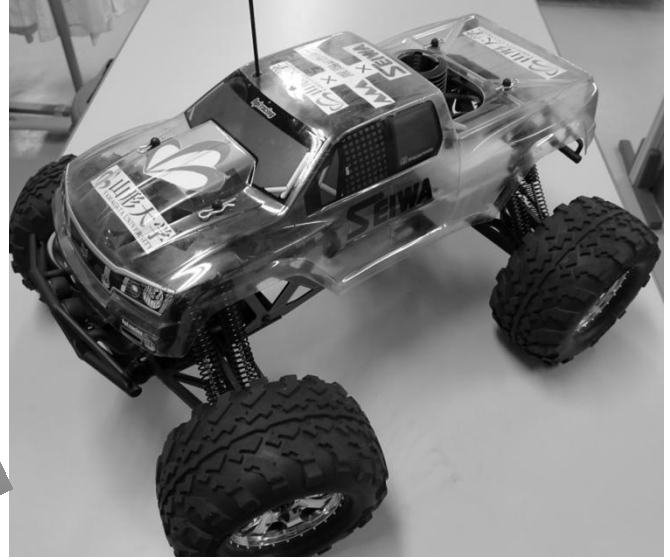
ゴミを輝くお宝に変身させるのだ!



# 山形大学「ドコサ・デモ教室」

古いてんぷら油で燃料を作って

君の手でラジコンを走らせよう!!



2010年9月11日(土)開催

場所：山形大学工学部2号館, 3号館

時間：10時から16時まで

対象：置賜の小学5, 6年生 20名  
(保護者見学可能)

(応募者多数の場合は抽選になります)

参加費：無料

募集締め切り：8月16日まで



主催：置賜総合支庁受託バイオマス普及啓発事業  
「ドコサ・デモ」プロジェクト

共催：山形大学国際事業化研究センター



## 内容その1：大学の研究を学ぼう！

大学で研究されている、ゴミ(古い天ぷら油など)の活用方法を学んで体験しよう！天ぷら油から作った燃料でラジコンを走らせよう！などなど実験を行います。



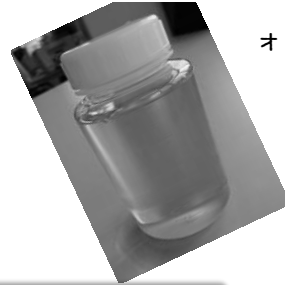
コレ、ナニ？



しゃしん、トルよ



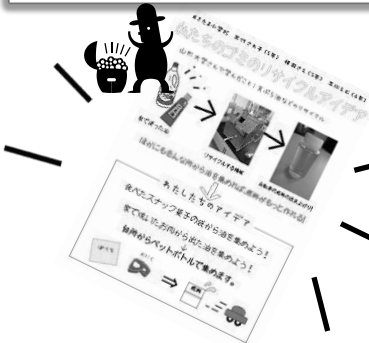
ぼくを作るの？



オレ走るぜ、たぶん・・・



## 内容その2：考えたアイデアを大学に教えよう！



君のアイデアをかたちに。紙の上に発想を広げよう！

**その1で学んだことからアイデアを！**

**実は、こんなものが資源として利用できないかな？  
私だったら、僕だったらゴミをこんな風に使うよ！  
そんな自由な発想を紙にまとめてもらいます。**

## 君の描いたアイデアを10月に川西町に展示します！

参加を希望する方は、参加申し込み事項を記入の上、メールでお申し込み下さい。  
また、Webサイトでもお申し込みを受け付けております。

申し込みメール宛先: sakura23@yz.yamagata-u.ac.jp

申し込み受け付けWebサイト: <http://samidare.jp/biomass/>

お問い合わせ先:

山形大学国際事業化研究センター「ドコサ・デモ教室」担当 渡部宛

〒992-8510 米沢市城南4丁目3-16

電話: 0238-26-3483 FAX: 0238-26-3633

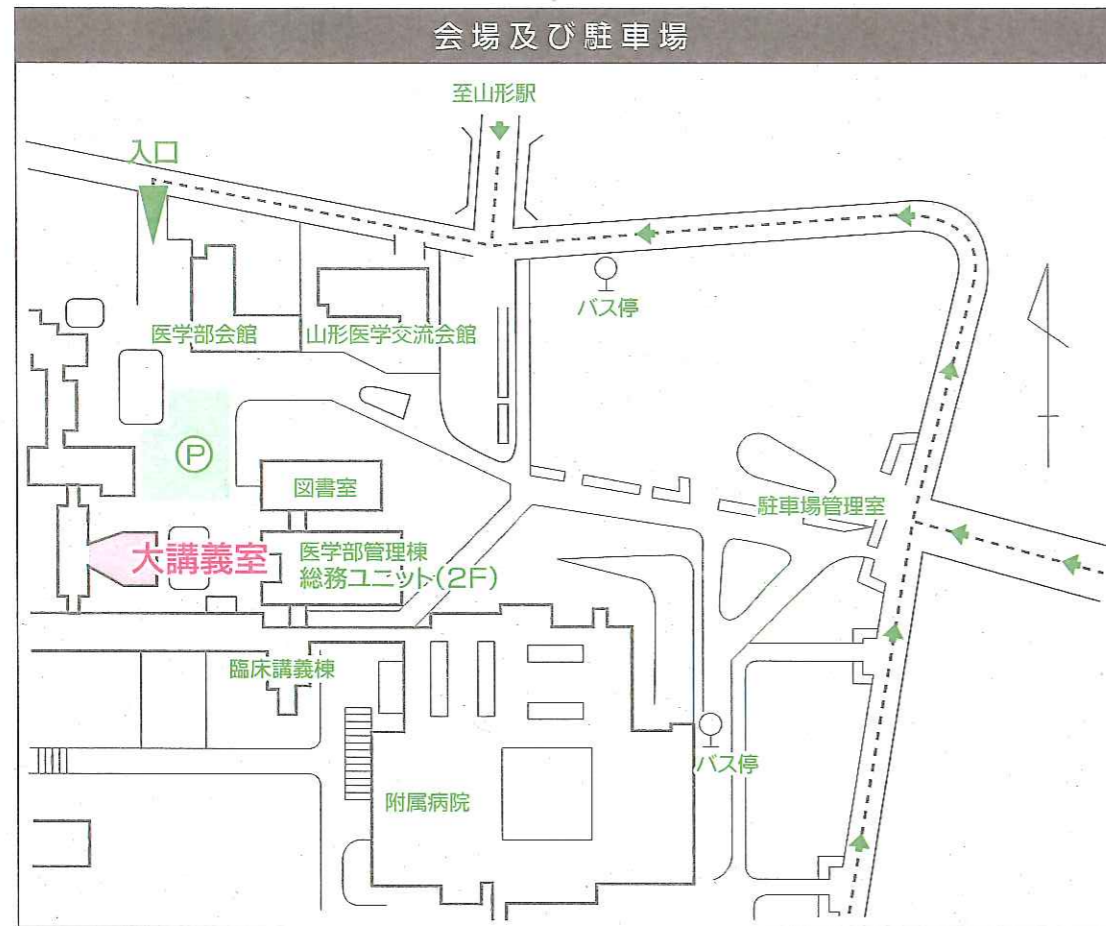
### 参加申込の必須ご記入事項

- ①ご参加されるお子様のお名前
- ②保護者の方の氏名
- ③保護者見学希望の有無
- ③郵便番号、ご住所
- ④電話番号
- ⑤お子様の年齢、学年
- ⑥小学校名

# 感染症への備え

～医療現場で最低限必要な準備と対策～

2009年春に発生した新型インフルエンザには、日本中が振り回されました。その2年前の2007年春には麻疹が流行し、2004年春にはSARSが世界中を震撼させました。このように感染症が時々世間を騒がせ、そのたびに医療機関は一時的な患者増加や、院内で発生した感染症患者への対応、他の患者への伝播防止対策などに追われます。これらの感染症以外にも、医療機関ではMRSA感染症に代表される様々な感染症患者の診断治療とその院内伝播防止対策に日常的に悩まされているのではないのでしょうか。一方で、このような対策に十分な人とカネをかけられるほどの余裕がある医療機関は限られてきます。できるだけ少ない資源と労力でこれらに対応するには、感染症への備えに関する院内での職種ごとの役割を理解し、また職種の壁を越えた有機的な活動が必要です。本講座では、医療機関での感染症への備えに関して、職種ごとにどのような役割を果たすことが期待されるか、およびその連携を解説します。また、医療機関における具体的な対策に関する「悩み」を共有する場としてもご活用頂ければ幸いです。



ここから切り離して郵便局にお出しく下さい。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意  
この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。  
また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。



開催日時

9月25日(土)  
10月2日(土)(全2回)  
13:00~16:00

受講対象者

すべての医療従事者および  
医療機関事務担当者

受講料

受講料 … 7,000円  
※払い込まれた後の受講料はお返しません。

受講の手続

申込期間 …… 平成22年8月2日(月)~平成22年8月31日(火)まで  
申込方法 …… 「払込取扱票」に記入の上、郵便局で手続してください。  
通信欄に職業等、必要事項を記入してください。  
先着順に受け付け後、受付証をお送りします。  
問合せ先 …… 医学部総務ユニット庶務担当  
〒990-9585 山形市飯田西2-2-2  
TEL/023-628-5006

会場

医学部大講義室 (山形市)

募集人員

100名

講師

横浜市立大学附属病院  
満田 年宏 先生  
山形大学医学部附属病院  
検査部副部長 森兼 啓太 先生 他

9月25日(土)

13:00~13:10	開講式
13:10~13:30	はじめに「感染症への備えとしての職種間連携」
13:30~14:00	看護師の役割「感染症患者のケアと現場での伝播防止」
14:00~14:30	医師の役割「感染症の診断治療と対策のリーダーシップ」
14:45~15:15	検査技師の役割「微生物関連の検査と迅速で有効な臨床への情報伝達」
15:15~16:00	ミニ討論

10月2日(土)

13:00~13:30	薬剤師の役割「消毒薬と抗菌薬」
13:30~14:00	事務方の役割「組織のまとめ役と医療従事者の支援、感染症に関する法規」
14:00~15:00	医師の役割「異なる施設における組織の相違と医師の役割再び」
15:15~16:00	総合討論
16:00~16:10	閉講式

ここから切り離して郵便局にお出しください。

02		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座番号		百 十 万 千 百 十 円		金 額	
0 2 2 6 0 7		9 2 4 7 8		7 0 0 0	
加入者名		料 金		特 殊 取 扱	
国立大学法人山形大学					
通信欄		※ 山形大学医学部公開講座 この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。 ●職業 _____ ●勤務先 _____ ●性別 男・女 _____ ●年齢 歳 _____ ●受講歴 _____ <small>※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。 □ 承諾する □ 承諾しない (いずれかをチェック願います。)</small>			
ご依頼人		おなまえ		受付局日附印	
		様			
		(電話番号)			
		裏面の注意事項をお読みください。(私製承認第8982号)			
		これより下部には何も記入しないでください。			
払込金受領証					
口座番号		0 2 2 6 0 7		百 十 万 千 百 十 円	
		9 2 4 7 8			
加入者名		国立大学法人山形大学			
金額		千 百 十 万 千 百 十 円			
		7 0 0 0			
ご依頼人		おなまえ			
		様			
料 金		受付局日附印			
特 殊 取 扱					

各票の※印欄はご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。切り取らないで郵便局にお出しください。



次世代ロボットデザインセンターが描く

# “ロボットの未来・明日のカタチ”

時間／13:00～16:00

場所／山形大学工学部(米沢市)

受講対象／一般市民(高校生以上)

定員／40名

少子高齢化が進む中、安全で安心して暮らせる社会を実現するためにロボットテック/ロジー(RT)に対する期待が高まっています。山形大学でも10名以上の教員が、ロボットテック/ロジーに関連する研究・教育を活発に行っています。

受講料  
無料

期日  
10/2  
土

★入退室自由  
途中からの参加も  
歓迎いたします。

そこで、理工学研究科では未来ロボットをデザインし革新的な次世代ロボットテック/ロジーを創出するための研究・開発の拠点として、次世代ロボットデザインセンターを2009年に立ち上げました。

本講座では、次世代ロボットデザインセンターに所属する教員が、

四つのテーマからロボットの未来や明日の社会のカタチを紹介します。

また、講義終了後に、普段見ることができない、研究室見学も実施します。

1

RTが変えるコミュニケーションのカタチ(13:05～13:30)

機械システム工学分野／妻木 勇一 先生

2

福祉ロボットが支える明日の社会(13:30～13:55)

応用生命システム工学分野／李 秀雄 先生

3

メカデザインが生み出すロボットの未来(14:05～14:30)

機械システム工学分野／多田隈 理一郎 先生

4

未来のロボットを支える制御パラダイム(14:30～14:55)

機械システム工学分野／水戸部 和久 先生

15:00～15:50 研究室見学 ★上記の先生方の研究室も見学できます!

## 参加申込書〈受講料無料〉

必要事項を記載の上、FAXまたはメールにてお申込ください。  
ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

氏名	
所属 (学校・勤務先名)	
電話番号	
メールアドレス	



問い合わせ先／工学部事務ユニット 広報室 米沢市城南4-3-16 TEL/FAX 0238-26-3419

メールアドレス [edison@yz.yamagata-u.ac.jp](mailto:edison@yz.yamagata-u.ac.jp)



第10回

ところ 山形大学工学部重要文化財内



# ルネサンスカフェ 癒しの響き

山形大学工学部・重要文化財コンサート

メゾ・ソプラノ：相可佐代子  
ピアノ：長野真保

平成22年10月9日(土)

開場 14:30

開演 15:00

主催・山形大学工学部  
後援 山形県置賜総合支庁・米沢市教育委員会・(財)米沢上杉文化振興財団  
(社)米澤工業会・山形大学工学部後援会・米沢市芸術文化協会

【お申込み受付】

平成22年9月8日(水)午前10:00から電話受付開始 なお、定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お問い合わせ・お申込み：山形大学工学部 企画総務チーム TEL 0238(26)3005

入場無料





# PROFILE



## 相可 佐代子 (メゾ・ソプラノ)

名古屋音楽大学声楽科卒，同大学院修了。2000年，笹川日仏財団共催パリ市立シャトレ劇場のオーディションに合格し，2001年に渡仏。劇場で行われたオペラのアンダースタディーを務める一方，劇場でのお昼のコンサートにも出演。劇場研修後の2003年にパリエコールノルマル音楽院で奨学生として研鑽を積む。同音楽院高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。2004年からはシャトレ劇場アンサンブルメンバーとしても出演を重ねる。2006年からは活動の拠点を日本に移す。現在はソロ活動の他，2004年パリで日仏交流のために結成されたグループ「クルトパイユ」の活動も合わせ，日本各地での公演を行っている。



## 長野 真保 (ピアノ)

愛媛県出身。6歳からピアノ，バイオリンを始め，国立音楽大学卒業後，渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院にて，ピアノをジャン・ミコー，室内楽をドゥヴィ・エルリー各氏に学ぶ。ピアノ最高課程コンサート科を首席で卒業，室内楽高等演奏ディプロムを取得。また，同時期にドイツ・ザールランド州立演劇・音楽学校にも在籍し，ピアノ・コンチェルト過程を審査員の称賛付きで修了。マドレーヌ・ドゥ・ヴァルマレットコンクール（フランス）ベートーベン部門第一位（審査員の称賛付き）。これまでに，高野耀子，南節子，フリードリッヒ・ヴィルヘルム・シュヌアー，マスタークラスで，バドゥラ・スコダ，アンリ・バルダ各氏に師事。

### プログラム

武満徹作曲：小さな空 うたうだけ

ビゼー作曲：オペラ「カルメン」より ハバネラ

オッフェンバック作曲：オペレッタ「ラ・ペリコール」より 酔っ払いの歌  
などを予定



### 申込方法

電話による受付となります。

平成22年 9月8日（水）午前10:00から受付開始。

なお，定員（100名）になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ・お申込み：山形大学工学部 企画総務チーム TEL/0238-26-3005



第16回

# 吾妻祭



～僕らが繋ぐこの瞬間～

10月9日(土) in 米沢女子短期大学

オープニングイベント  
各種企画

清水翔太 開演 16:00～  
開場 17:00～



清水翔太

10月10日(日) in 山形大学工学部

各種企画

屋台・展示・研究室公開・フリマ

10月11日(月) in 山形大学工学部

各種企画

屋台・展示・研究室公開・芸人ライブ



弾丸ジャッキー



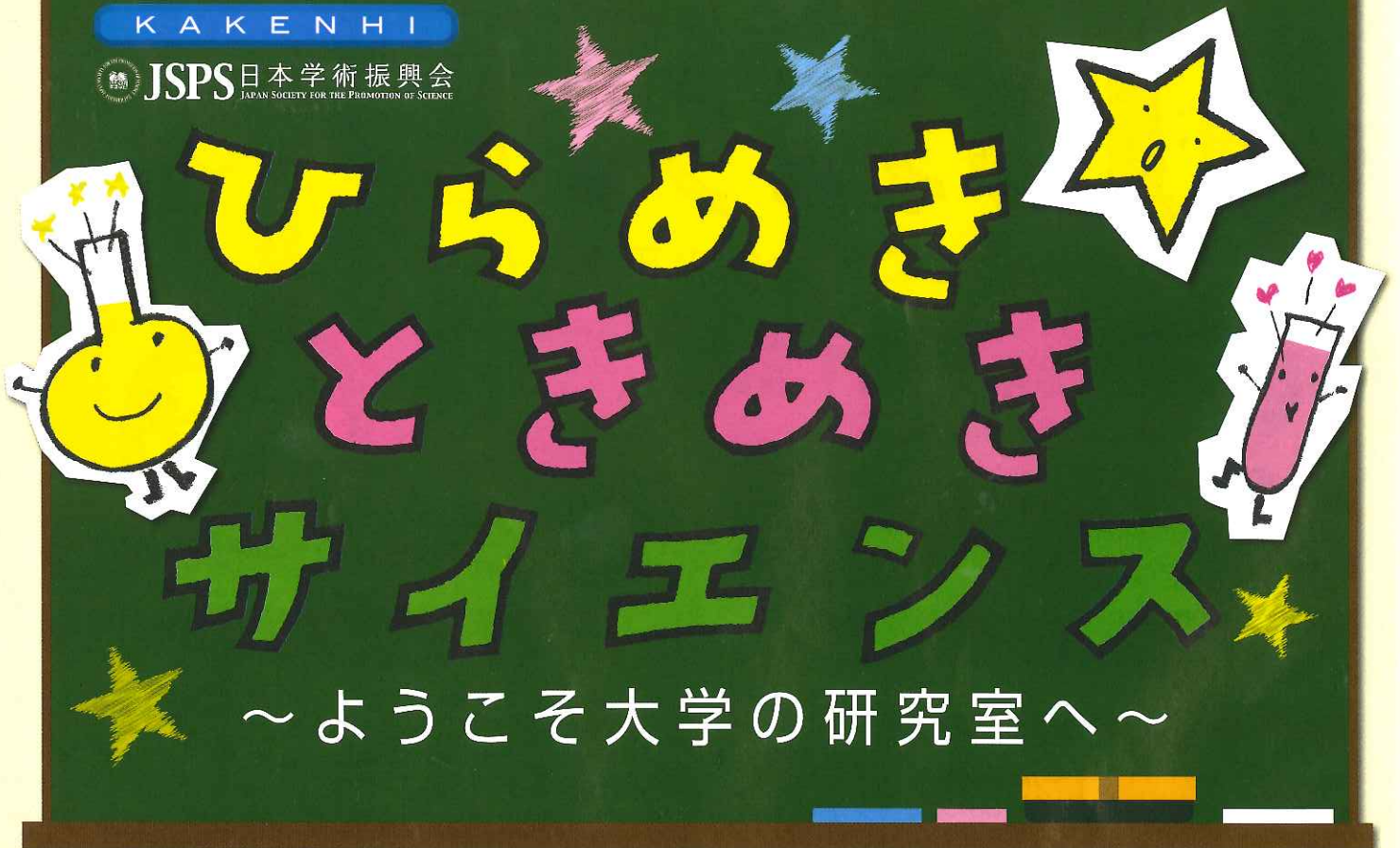
駐車場には限りがございます。なるべく公共機関をご利用ください。

詳しくは'10 吾妻祭 HP で⇒ <http://sky.geocities.jp/azumasai2010/azuma/10azumasaitop.html>

主催：山形大学工学部・米沢女子短期大学合同学園祭「吾妻祭」実行委員会







# 「有機の光を体験しよう」

2010

城戸 淳二 教授

**11/13** 土★★★★ スケジュール ★★★★★  
(予定)**開催場所** 山形大学工学部  
(山形県米沢市城南4丁目3-16)**申込締切** 2010年10月31日**対象** 中学生(20名)**内容**

世界で今、一番注目をあびている「有機EL」について様々な体験してもらいます。

はじめに、城戸先生から「有機ELはどんなもの?」について教えてもらいます。

お話の後には、参加者の皆さんに有機物質を合成したり、有機ELを作ってもらおう実験実習を行います。

昼食は、学食でちょっぴり大学生気分を味わっていただくほか、後半にはお茶をいただきながら、城戸先生への質問コーナーやフリートークの時間も用意しています。

中学生の皆さん、楽しみながら心に残るステキな体験をしてみませんか。

9:30~10:00... 受付、開場

10:05~10:30... 開校式(挨拶、オリエンテーション)

10:30~10:50... 講演「有機ELについて(仮)」  
講師 城戸 淳二 教授

10:50~11:00... (休憩)

11:00~12:00... 実験「光る蛍光物質合成」

12:00~13:30... 昼食  
(先生方、大学院生とともに学食で食事)13:30~15:00... 実験「有機EL素子の作製」、  
評価、ディスカッション

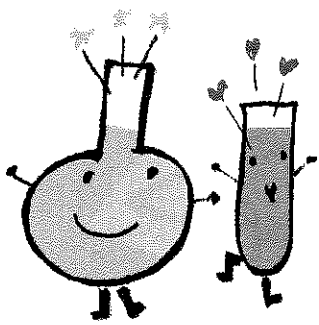
15:00~15:10... (休憩)

15:10~15:45... クッキータイム、フリートーク  
(先生方や大学院生への質問コーナー)15:45~16:00... 修了式(未来博士号授与・アンケート記入)  
及び写真撮影

お問い合わせ先：山形大学工学部研究支援室 TEL 0238-26-3004  
E-mail:edison@yz.yamagata-u.ac.jp

事業の詳しい内容はHPからご覧ください→ ひらめき☆ときめきサイエンス

本プログラムは独立行政法人日本学術振興会による研究成果の社会還元・普及事業です。



# ひらめき★ ときめき サイエンス

有機の光を  
体験しよう

～ようこそ大学の研究室へ～

期日

平成22年11月13日(土)  
10:00~16:00

場所

山形大学工学部

対象

中学生(20名)

参加費  
無料!

## 参加お申込み方法

### ●ホームページから申し込む場合

<https://cp11.smp.ne.jp/gakujutu/seminar>  
※山形大学「有機の光を体験しよう」の「申込」をクリック!

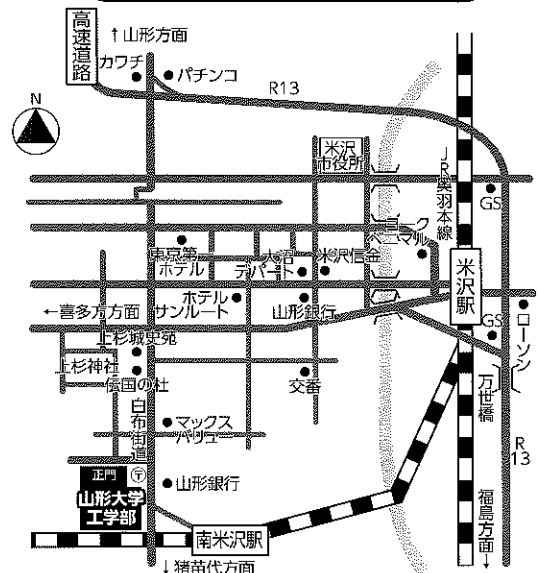
### ●Eメールで申し込む場合

edison@yz.yamagata-u.ac.jp  
※参加申し込み書の内容を送信  
タイトルに「ひらめき参加希望」とお書き下さい。

### ●FAXで申し込む場合

FAX:0238-26-3401  
※下記の参加申込書を送付して下さい。

## ACCESS



## 参加申込書

氏名・性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
学校名(学年・年齢)	中学校 ( 年・ 歳)		
住所			
電話番号			
メールアドレス			
ご家族・学校関係者の 見学の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	保護者の同意 (必須)	<input type="checkbox"/> 同意有り

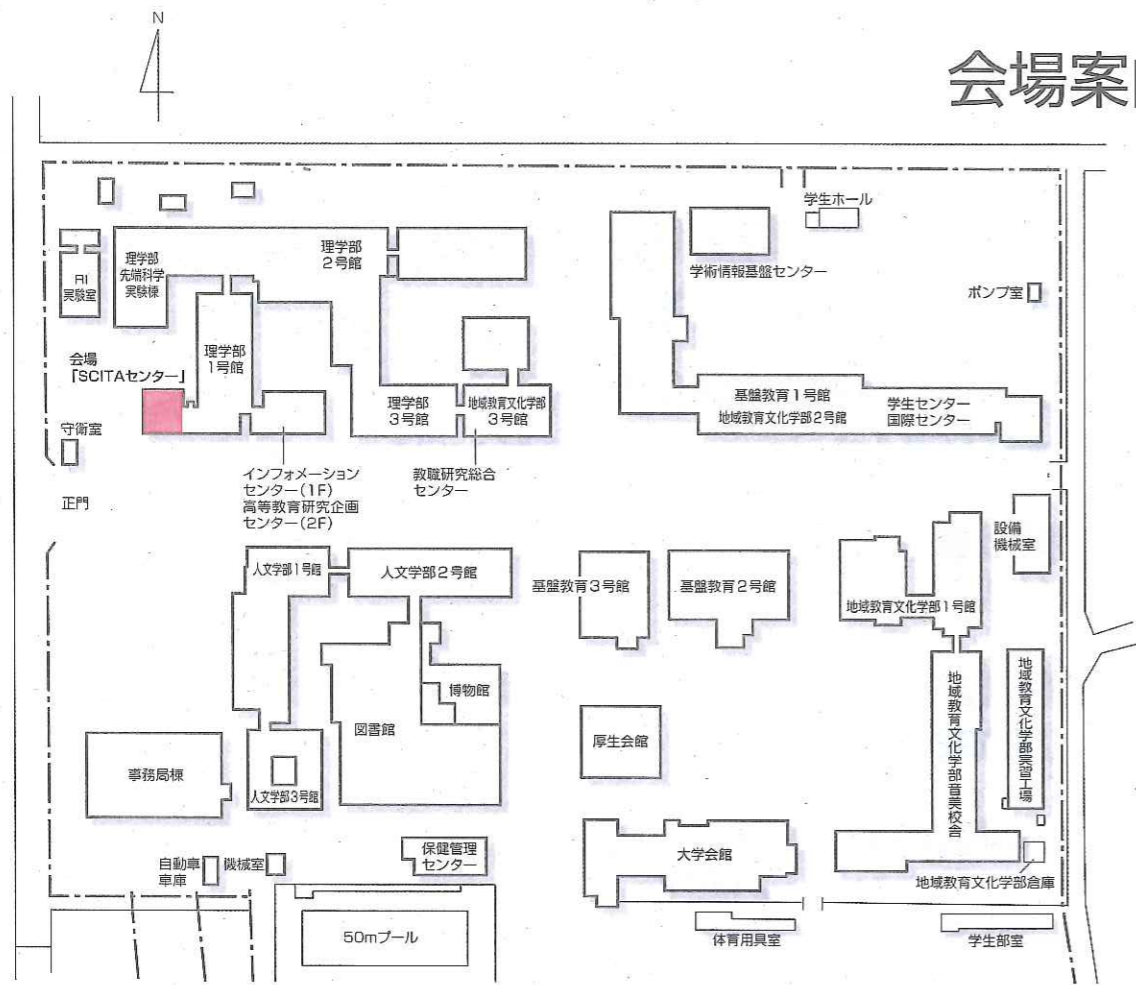
※ご記入いただいた個人情報は本件でのみ使用し、他には一切使用いたしません。

お申込み・お問合わせ先\*山形大学工学部研究支援室

TEL:0238-26-3004 FAX:0238-26-3401 E-mail:edison@yz.yamagata-u.ac.jp



# 会場案内



- バス…山形駅前(5番のりば)「関沢」行き「小白川1丁目」で下車、徒歩5分
- JR山形駅から、東方へ約2km
- タクシー…山形駅から10分程度
- JR山形駅から、「山形県庁」行きバスで「南高前」下車(所要時間約7分)、徒歩約5分

〔公共交通機関ご利用のお願い〕  
 大学内の駐車場は非常に手狭になっております  
 当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします

ここから切り離して郵便局へお出しください。(コピー不可)

02	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担						
口座番号																	
02	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	金額	2	0	0	0		
国立大学法人山形大学											料金	特殊取扱					
山形大学地域教育文化学部公開講座 「家族で科学を楽しむための理科教室」受講申込書											この払込用紙は、 1人1枚をご使用ください。						
●氏名:		●性別 男・女		●年齢 歳		●氏名:		●性別 男・女		●年齢 歳		●氏名:		●性別 男・女		●年齢 歳	
●氏名:		●性別 男・女		●年齢 歳		●氏名:		●性別 男・女		●年齢 歳		●氏名:		●性別 男・女		●年齢 歳	
※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座に関する手続きのみに使用し、第三者に提示・預託することはありません。ただし、ご承諾いただいた場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。 □承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います。)																	
※おとところ(郵便番号)											受付局日附印						
(ふりがな) おなまえ											様						
(電話番号)																	

裏面の注意事項をお読みください。(私製承認仙第8982号)  
 これより下部には何も記入しないでください。

払金兼受領証															
口座番号															
02	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	金額	2	0	0	0
国立大学法人山形大学											加入者名	国立大学法人山形大学			
金額											2000				
おなまえ											ご依頼人				
料金											受付局日附印				
特殊取扱															

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。  
 切り取らないで郵便局にお出しください。

平成22年度山形大学 公開講座  
 地域教育文化学部

# 家族で科学を楽しむための 理科教室





## 内容

「理科離れ」が社会的現象として取り上げられてから久しいですが、様々なアンケートの調査をみますと、子どもではなく、大人の方が深刻のようです。子どもたちは自然現象に対する興味や関心を持っているのですが、ある段階でなくしてしまうのは残念ですが、「家庭」で科学の話題にふれられないことに原因があるのかもしれませんが。

本講座は、お父さんやお母さん、あるいは、お祖父ちゃんやお祖母ちゃんに、もう一度、理科の教室へ戻ってもらい、小学校や中学校の教科書で取り扱われている物理、化学、生物、地学領域の実験を、子どもさん（あるいはお孫さん）と一緒に実験・観察を行ない、「どうしてそうなるのかな?」、「こうでだめだったから、こうすればよいのかな?」など、仮説の設定や試行錯誤を再体験してもらい、科学の見方や考え方に「再挑戦」してもらうことがねらいです。

そして、食事や団欒のとき、子どもさんやお孫さんと一緒に、あまりに普通なので見のがしている現象を、「どうして?」、「不思議だな。」という視点で考えたり、「調べて見たら?」とか「そうか!」と納得したりするような、科学の話題でポンポン弾む「理科大好き家族」が、少しでも増えてくれることが願いです。

### 第1回：テーマ「レンズとその応用」 講師 津留 俊介 (地域教育文化学部教授)

日時：平成22年9月18日(土) 14時～16時

内容：レンズは光の進む方向を変え、光を集めたり広げたりすることが出来ます。そんなレンズの性質を知って、どのように利用されているかを考えてみましょう。そして、レンズを使って写真が飛び出して見える「3Dビューワー」を作ってみましょう。

### 第2回：テーマ「街の石材観察」 講師 大友 幸子 (地域教育文化学部教授)

日時：平成22年9月25日(土) 14時～16時

内容：石材として使われている岩石は、地元山形産のものもありますが、外国産の花崗岩類、石灰岩、砂岩等が多く使われています。実験室で石材の岩石を観察したあとに、実際に街に行き、歩道やビルの壁面などの石材を見学します(山大から七日町通りを歩き、文翔館解散)。ビルの壁に化石も見つかりますよ。

### 第3回：テーマ「家庭でもできる酸とアルカリの実験」 講師 石井 実 (地域教育文化学部教授)

日時：平成22年10月2日(土) 14時～16時

内容：家庭の中にあるいろいろなものを使って「酸」と「アルカリ」の実験をします。自分で作った指示薬(「酸」と「アルカリ」を判定する薬)を使って、身の回りにある食品や飲み物そして日用品の性質を判定します。(内容は小学校6年生の「溶液の性質」に沿ったものになります)。

### 第4回：テーマ「顕微鏡を手作りしてみよう!」と「細胞のひみつ」 講師 加藤 良一 (地域教育文化学部教授) 鈴木 隆 (地域教育文化学部教授)

日時：平成22年10月16日(土) 14時～16時

内容：双眼顕微鏡で、タマネギの表皮細胞とサラダナの気孔を観察してみます。次に、ペットボトルを用いて、レーベンフックの顕微鏡を手作りします。そして、それで表皮細胞や気孔を観察します。さらに、細胞のひみつを探ります。

## 期 日

平成22年9月18日(土)・25日(土)、10月2日(土)・16日(土) 14:00～16:00(全4回 計8時間)

## 受講対象

小学生(3年生以上)とその家族

## 場 所

山形大学SCITAセンター (山形市 小白川キャンパス)

## 定 員

家族20組

## 受講料

1組2,000円

## 申込期間

平成22年8月31日(火)まで

下の「払込取扱票」(コピー不可)に記入の上、受講料の振り込み手続きを行ってください。申込期間後は、電話にてお問い合わせください。

## 問い合わせ先

地域教育文化学部総務チーム

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

Tel : 023-628-4304 E-mail : kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は、郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ここから切り離して郵便局へお出しください。

### ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないください。